北海道医師会館９階理事会室

第25回常任理事会

日　時　令和８年３月10日（火）18：00～19：06
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・伊藤・荒木・長谷部・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）青木・菅田両常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件
（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座６件を承認することと決定。

報告事項

１．保険医療医師研修会［令和７年度］について
（伊藤常任理事）

今年度は岩見沢市、稚内市、苫小牧市、札幌市の４地区８医師会を対象に開催した。元北海道厚生局統括指導医療官・佐野晋司先生から保険診療上のルールと指導・監査について、カルテ記載の重要性や個別指導時によく指摘を受ける算定項目などの説明があった。北海道国民健康保険団体連合会前常任審査委員・伊藤一輔先生からは保険診療上の留意事項として、検査・投薬・処置等における審査上の取扱いや注意点について解説があった。また、社会保険診療報酬支払基金北海道審査事務局審査調整役・鈴木潤一先生からは「支払基金審査の現状と診療報酬明細書作成の要点」と題し、明細書作成時の注意点のほか、支払基金のホームページで公表されている審査の一般的な取扱いについて説明があった。出席者は延べ388名であった。

２．都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会［２月21日（土）］について
（鈴木副会長）

厚生労働省医政局医事課死因究明等企画調整室・青木穂高室長から「死因究明等に関する施策の推進状況等」、警察庁刑事局捜査第一課検視指導室・阿部大輔室長から「警察の死体取扱業務」、日本医師会から「大規模災害時の検案体制」をテーマにそれぞれ報告があり、意見交換を行った。その後、学術大会が開催され、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科社会・行動医学講座法医学分野・林敬人教授から「浴室内突然死（入浴死）の疫学的解析から得られた予防法の開発と効果～鹿児島発入浴時警戒情報」と題した基調講演のほか、３題の一般演題が行われた。参加者は連絡協議会が96名、学術大会が139名であった。

３．HPVワクチンフォーラム［２月28日（土）・室蘭市］について（寺本常任理事）

室蘭市医師会等が例年開催している本フォーラムについて、今回は当会も共催として参画した。「HPVワクチンを正しく知ろう」をテーマに、製鉄記念室蘭病院産婦人科・春日芙貴子科長から「子宮頸がんとHPV」、小職より「ワクチンの有効性と接種後の有害事象」、おひげせんせいのこどもクリニック・米川元晴院長から「今改めて知りたい予防接種」について講演を行った。参加者は会場40名、Web25名であった。

４．第23回指導医のための教育ワークショップ［２月28日（土）～３月１日（日）・Web開催］について（髙橋常任理事）

チーフタスクフォースに北海道大学大学院医学研究院／医学教育・国際交流推進センター・髙橋誠教授、タスクフォースに、旭川医科大学地域共生医育センター・牧野雄一教授、札幌医科大学医学部総合診療医学講座・辻喜久教授、くろまつないブナの森診療所・尾形和泰所長、北海道医療大学予防医療科学センター・森谷満教授、札幌医科大学医学部総合診療医学講座・神野敦助教、札幌医科大学医療人育成センター教育開発研究部門／総合診療医学講座・三原弘准教授、帯広協会病院総合診療科・杉原伸明主任医長を迎え、２日間にわたりオンライン開催した。講義内容は、「印象に残る指導医」をテーマとしたグループワークやカリキュラムプランニング等９セッションのプログラムで、事前学習を含む講義時間は16時間20分、受講者は37名であった。

５．自民党・道民会議　医療関連促進議員連盟との勉強会［３月４日（水）］について（荒木常任理事）

自由民主党・道民会議 北海道議会議員会 医療関連促進議員連盟所属の議員に対して、医療界における課題や現況などについて認識を深め、その課題解決のために情報交換することを目的に、松家会長ほか５名の役員が本勉強会に出席した。「メディカルウイング」をテーマに、目黒常任理事から北海道における航空医療体制の現状や北海道航空医療ネットワーク（HAMN）設立の経緯、メディカルウイングの搬送基準・札幌丘珠空港常駐化の必要性などについて説明した後、意見交換を行った。参加した議員からは丘珠空港常駐化による効果や災害時等におけるメディカルウイング活用の可能性などについて

質問があった。参加議員は46名であった。

6．健康スポーツ医学推進委員会［3月7日（土)］について（末岡常任理事）

委員長に小職、副委員長に北海道スポーツ協会・佐久間一郎先生を選出した。議事では、北海道マラソン2025救護班協力医として活動された札幌市医師会・吉田祐一委員より、今大会のレース中の気温の変化や時間帯ごとの救護所収容人数等のほか、看護スタッフの募集が課題であるとの報告があった。続いて、小職より道内での日医認定健康スポーツ医制度再研修会の開催状況について報告し、佐久間副委員長より、第32回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の講師2名を紹介した。話題提供では、再研修会の事前学習として株式会社SHARE代表取締役・佐伯輝明氏より指定運動療法施設に関する解説があった。

7．第32回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会［3月7日（土)］について（末岡常任理事）

日医認定健康スポーツ医制度の更新2単位の研修会として開催した。株式会社SHARE代表取締役・佐伯輝明氏より「指定運動療法施設を経営する視点から－健康スポーツ医と運動指導者を含めた多職種協働－法人の垣根を超えた協働現場の課題と成功への道標」、JA北海道厚生連札幌厚生病院婦人科・生殖内分泌科・三國雅人部長より「女性の各ライフステージにおける運動の効果とAYA世代アスリートにおける問題点」と題した講演があり、質疑応答を行った。受講者は日医認定スポーツ医等62名であった。

8．医療関係者等スキルアップセミナー［3月8日（日)］について（末岡常任理事）

北海道健康づくり財団からの受託事業として、北海道歯科医師会の協力のもと開催した。北海道糖尿病対策推進会議・土田健一副会長、北海道歯科医師会・森本達也常務理事から「糖尿病と歯周病」をテーマに講演があった後、意見交換を行った。参加者は会場6名、Web120名であった。

9．外部各委員会報告

⑴ 北海道医療対策協議会「第1回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会」、「第1回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会」、「第3回専門医制度等に関する検討委員会」［2月16日（月)・Web併用］について（佐古副会長）

3検討委員会が合同で開催され、医師偏在に向けた総合的な対策パッケージの報告、医師確保計画ならびに医師の働き方改革の進捗状況、地域枠制度の運営状況、研修医・専攻医の採用状況、広域連携プログラムなどについての説明があり、協議を行った。また、2027年度開始の専攻医募集において、麻酔科に加え、新たに脳神経外科がシーリング対象の追加となったため、実態に即していないとし、国に対して引き続き見直し要望をしていくことについて報告があった。

⑵ 北海道医療審議会第2回地域医療部会［2月20日（金)・Web併用］について（藤原副会長）

地域医療支援病院の名称承認や診療所における病床設置（内科・小児科1件)、令和7年度病床機能再編支援事業に係る給付（4件）について協議し、了承した。その後、条件付き許可を行った5医療機関の履行状況および令和7年12月時点の特定労務管理対象機関の指定状況や令和8年度の指定に係るスケジュールなどについて確認した。

⑶ 北海道医療審議会第2回医療法人部会［2月20日（金)・Web併用］について（鈴木副会長）

地域医療連携推進法人、社会医療連携推進法人の認定が各1件、医療法人の設立は医科診療所11件、歯科診療所3件の計14件、解散は医科診療所14件、歯科診療所4件の計18件、合併は医科3件、歯科1件の計4件をすべて承認し、その後、非医師等の理事長選任状況を確認した。

⑷ 第2回北海道助産師出向支援事業協議会［2月27日（金)］について（寺本常任理事）

正常分娩の介助経験を積み重ねることが困難な医療機関に就業している助産師を、分娩件数が多いにもかかわらず十分な助産師を確保できていない医療施設に出向させることを目的とする事業の令和7年度実績状況について、応援目的より研修目的の出向が多かったと説明があった。令和8年度も施設の意向調査を基に出向成立に向け各施設への働きかけを継続していく予定である。

⑸ 北海道地区原子力災害医療ネットワーク協議会［3月3日（火)・Web開催］について（白崎常任理事）

北海道から今年度の北海道原子力防災総合訓練の実施結果の報告があった後、原子力安全研究協会から原子力災害（原子炉事故）による内部被ばく・外部被ばくの影響やメカニズムについて説明があった。

⑹ 道東ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会［3月4日（水)・Web開催］について（白崎常任理事）

基地病院の市立釧路総合病院から令和6年度の道東ドクターヘリ運航実績報告書の内容について報告があった。

⑺ 北海道産業保健総合支援センター運営協議会［3月5日（木)・Web開催］について（村上常任理事）

北海道産業保健総合支援センター・加藤順一副所長より、北海道産業保健総合支援センターおよび地域産業保健センターにおける今年度の各種研修会の実施件数や受講者数、治療と仕事の両立支援に関する相談件数等の報告があった

後、来年度事業計画案の説明があり、同センターの活動を活性化させるための意見交換を行った。

⑻　北海道医療対策協議会「第３回地域医療を担う医師養成検討分科会」、「第３回専門医制度等検討分科会」［３月６日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

外部委員会報告⑴と同内容のため省略。

⑼　北海道ナースセンター事業運営委員会［３月６日（金）］について（寺本常任理事）

令和７年度における求人・求職相談件数等の実績について報告があった。ナースバンクの求人数ならびに求職者数が昨年度より減少していることについては、有料職業紹介所等の利用者の選択が広がっていることも影響しているとの説明があり、併せて求職者の年齢構成が上昇していることも報告された。また、ｅナースセンターの登録状況や看護補助者の就業に向けた研修、潜在保健師を対象とした復職支援研修会等について報告があった後、令和８年度の事業計画（案）について協議したほか、「看護の心」普及啓発事業として、札幌駅および大通駅に掲出した、看護の日のポスター画像を用いたデジタルサイネージ広告について紹介があった。

10.　中央情勢報告

「第171回臨時代議員会　議案第４号『当面の医療政策に関する件』」について（荒木常任理事）

小職から、取りあげるべき喫緊の課題について配付資料を基に説明した。

第27回常任理事会

日　時　令和８年３月24日（火）18：00～19：45
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　職員の人事異動に関する件（目黒常任理事）

４月１日付けの事務局人事案について承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第２号　職員給与規程の一部改正に関する件（目黒常任理事）

職員給与規程の一部改正について承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第３号　母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

審査委員会において指定可とされた新規申請者１名、再審査申請者３名を指定医師とすることと決定。

第４号　母体保護法指定医師研修機関の指定に関する件（目黒常任理事）

勤医協中央病院（札幌市）を指定することと決定。

第５号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座７件を承認することと決定。

第６号　その他

⑴　４月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．令和７年度産業保健各種研修会について（村上常任理事）

産業保健研修会５ヵ所、産業医学基礎研修会（前期・後期各１回）、産業医学実践研修会、産業保健実地研修会を開催したほか、郡市医師会に委託しているリフレッシュ研修、スキルアップ専門・実地研修は７ヵ所で行われた。全16回の受講者総数は785名であった。

２．こども仕事体験フェスタin札幌［３月14日（土）］について（髙橋常任理事）

道内では２回目となる損保ジャパンが企画・運営を行う小学生対象の仕事体験イベントが開催され、道内の16の団体および企業が参加し、全体で約300名が参加した。当会ブースでは、こどもたちは白衣を着用し、聴診器・超音波エコー・内視鏡体験を実施したほか、介護ロボットとのふれあい時間を設けた。４クール行い、合計31名が参加した。

３．都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会［３月16日（月）・Web開催］について（目黒常任理事）

日医・笹本常任理事から、本協議会の趣旨とMAMISの現状報告があった後、愛知県医師会・加藤雅通理事と広島県医師会・茗荷浩志常任理事からMAMIS導入事例についてそれぞれ説明があった。そのほか、事前に寄せられた質問・意見・要望について、日医より回答があった。

４．［厚生労働省医政局主催］第１回医療政策研修会［３月17日（火）・Web開催］について（荒木常任理事）

厚生労働省医政局地域医療計画課等から「医師偏在対策」、「かかりつけ医機能報告制度」、「大学病院機能強化推進事業」、「新たな地域医療構想策定ガイドライン」などをテーマとして講演が行われた。なお、本研修会はストリーミング形式で開催され、各講演資料は厚生労働省ホームページより閲覧が可能。説明動画は後日掲載予定。

５．外部各委員会報告

⑴　北海道後発医薬品安心使用協議会［３月６日（金）］について（伊藤常任理事）

後発医薬品の使用割合の説明と各構成団体における後発医薬品の取組状況の報告があった後、今後の供給状況等について協議を行った。

⑵　第３回受動喫煙防止対策専門部会［３月16日（月）・Web併用］について（青木常任理事）

北海道受動喫煙防止対策推進プランの設定数値目標の達成状況について報告があった後、同プランの進捗状況の協議を行った。

⑶　北海道在宅医療推進支援センター第２回運営協議会［３月17日（火）・Web開催］について（伊藤常任理事）

今年度事業は、北海道全体の在宅医療の普及と個別地域の現状や課題に応じた地域づくり支援を２つの柱として実施し、北海道全体では在宅医療に係る動向や地域の取組の紹介、在宅医療やACPに関する研修等を実施するとともに、個別地域では地域の医療・介護等の現状および取組を踏まえた支援を行った旨説明があった。併せて、今年度「在宅医療に必要な連携を担う拠点」に対して取組状況等の把握を行った旨報告があった。

⑷　医療データ分析センター運営協議会［３月18日（水）・Web併用］について（荒木常任理事）

座長に小職が選出された後、令和７年度の医療データ分析センター活動実績として、令和３年度から実施している地域分析が一巡し、令和７年度から二巡目に入ったこと、診療実態をより反映した精緻な値とするため、ICD-10コードに加えて傷病名コードでも集計が可能になるよう見直したこと等が報告された。その後、令和８年度の分析方針（案）について協議し、令和６年度から取り組んでいた救急搬送データ分析は、救急の搬送動向の見える化等の一定の成果が認められたことから終了することとした。

⑸　第２回北海道がん対策基金運営委員会［３月18日（水）］について（藤原副会長）

審査・評価部会による令和８年度基金助成事業の審査結果の報告後、令和８年度事業計画案ならびに収支予算案について説明があり、承認された。

⑹　北海道精神科救急医療体制連絡調整委員会［３月23日（月）・Web開催］について（荒木常任理事）

精神科救急医療体制整備事業実績などについて報告後、各ブロックの精神疾患患者（身体合併症患者を含む）の搬送および受入れ標準ルールの検討状況について確認した。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．地域医療専門委員会第３回医療施設整備等検討委員会［３月19日（木）・Web併用］について（荒木常任理事）

令和６年度医療提供体制施設整備交付金事業（３事業）の事後的評価の承認と、令和８年度同交付金事業計画案について説明があった。

北海道医師会ホームページ→医師の皆さまへ→会員専用メニュー→会員優待サービス
（ご利用にはユーザー名・パスワードによるログインが必要です。）

http://www.hokkaido.med.or.jp/

会員優待サービスのご案内

北海道医師会では、福利厚生事業の一環として会員限定の優待サービスを行っています。
割引価格で提供されていますので、ホームページをご覧ください。

ホテル予約
出張時の宿泊予約、家族旅行の宿泊に…

ショッピング
ご自宅用・出産祝い等のギフトに…

お引越し
国内・海外へのお引越し

イベント
ミュージカル・演奏会、ストレス発散に…